31





1979年, 中国政府在改革开放政策上跨出了巨大的一步, 力图扩大与日本等发达国家的交流。同时, 在医疗领域, 作为第一步, 通过中西医结合医学, 实现医学现代化, 提高医疗水平, 并提出了在北京市内设立示范医院的计划。

中国政府向日本政府提出了无偿资金 援助和技术合作的申请,中国政府的申请内 容及规模,超过了以往任何的无偿资金援助 及专项方式技术合作。日本政府为了积极支 持中国的改革开放政策,接受了这个大规模 的申请,并进行大约165亿多日元的无偿资 金援助,建设中日友好医院,并于1984年正 式启用。 由于是完全新建立的医院,急需培养人才、强化管理体制。为了提高医疗教育水平,在1981年至1992年的11月里实施了专项方式技术合作。

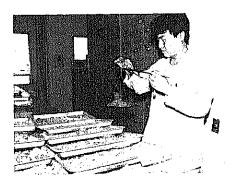
此外,1994年后的一年里,实施了完善合作。该项目从合作开始至今,派遣了日本长期专家48名,短期专家118名,接收了235名中国对口进修人员。

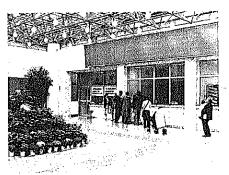
1979年、中国政府は、改革開放政策に大きく足を踏み出し、日本を始めとする西側諸国との交流の拡大を図ることとしました。同時に、医療分野においては、その第一歩として、中国伝統医学と西洋医学の結合による医学の近代化及び医療水準の向上をめざしたモデル病院を北京市に設立することを計画し、このための無償資金協力と技術協力を中国政府が日本政府に要請してきました。

中国政府の要請内容や規模は、従来の無償 資金協力やプロジェクト方式技術協力の規模 からすると極めて破格のものでしたが、日本政府 は中国の改革開放政策を積極的に支援すること とし、この大規模な要請に応え、約165億円 余りの無償資金協力援助を行い、日中友好 病院を建設し1984年に開院しました。

まったく新規に設立された病院だったために急ぎ必要であった人材の養成や、管理体制強化、また診療・教育水準の向上等についても、並行して1981年から1992年までの11年間、プロジェクト方式技術協力を実施しました。

さらに、1994年から1年間、アフターケア協力を実施。協力開始から現在までに、日本人長期専門家48名、短期専門家118名を派遣し、カウンターパート研修員も235名受け入れてきました。

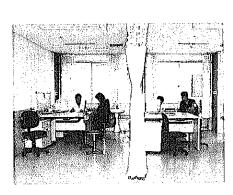




「日本政府提供无偿援助, 中日两国政府合作建设中日友好医院」

20年来, JICA中国事务所在中日友好医 院的建设和发展中提供了多种形态的合作。 通过JICA的无偿援助资金和中日双方的共 同努力,中日友好医院已经成为现代化的综 合性医院,成为中国最大的中西医相结合的 基地以及对外交流的窗口。并且在1994年被 授予"第一回国际协力特别奖"。参加过JICA 进修的235名实习生已经成为我院各学科的 中坚力量,为中日两国的医学学术交流作出 了重要的贡献。日本政府提供无偿援助,中 日两国政府合作建设的中日友好医院获得 成功的事实是通过中日友好医院建立18年 以来的实践经验证明的。在JICA成立20周年 之际,我衷心希望中日双方在人才培养、远 程医疗的领域加强合作,为把中日友好医院 建设成为国内一流、国际知名的大型现代化 综合性医院作出更大的贡献。

中日友好医院



「日本政府が無償援助を提供し、 日中両国政府が協力して建設した中日友好病院」

20年来、JICA中国事務所は中日友好病院の建設と発展に、様々な支援を提供してきました。JICAを通じた無償資金協力と日中双方の共同努力を通じて、我が中日友好病院は既に近代的な総合病院となり、中国最大の中国医学と西洋医学融合の基地及び対外交流の窓口となりました。そして、1994年に「第1回国際協力特別賞」を受賞しました。JICAの研修で育成された235名の研修員はすでに我が病院各学科の中核となり、日中両国の医学学術交流のために重要な役割を果たしています。

日本政府が無償資金協力を提供し、日中 両国政府が協力して建設した中日友好病院 が成功した模範例であることは、中日友好 病院設立18年の実践経験によって証明され ました。JICA中国事務所設立20周年にあたり、 日中双方が人材育成、遠隔医療等の分野で 引き続き協力を強化し、中日友好病院を国内 一流、国際的にも有名な大型で近代化され た総合病院に築いていく為に更なる貢献を 行うことを、衷心より希望致します。

中日友好病院

院長 何恵宇

院长 何惠宇

开始时预想会有很太困难,但在中国实现了消灭脊髓灰质炎。

33

開始時点ではかなりの困難が予測されつつも 中国におけるポリオ根絶を実現



脊髓灰质炎是脊髓灰质炎 病毒所引起的 感染症,由于脊髓运动神经遭到破坏,引起手 足麻痹的树症,也被称为小儿麻痹。

1988年5月, 世界卫生组织(WHO)通过了到2000年全世界消灭脊髓灰质炎行动计划的决议。同年9月WHO四太平洋事务局地区委员会(WPRO)通过了到1995年消灭西太平洋地区将根除脊髓灰质炎的决议。

中国政府也接受WPRO的决议,开始了到1995年为止彻底消灭本土的脊髓灰质炎的计划。1989年,脊髓灰质炎在全国大规模流行。 全年共有9600人以上感染,患者达5000人以上。

在此背景下,日本政府应WHO请求,为

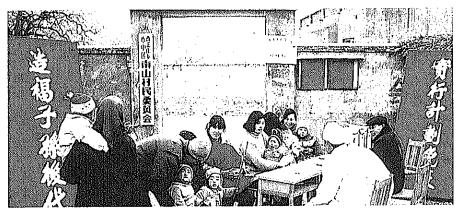
帮助中国消灭脊髓灰质炎、从1990年起派遣医疗专家、开始合作。1991年7月、中国政府为了进一步推进消灭脊髓灰质炎行动,向日本中请专项方式技术合作。

此项目当初是由的派遣专家开始的。然后, 以在以山东省为中心的5省开展合作。脊髓灰 质炎的发生率由此显著降低。随后,该项目被 逐步扩大到西南各省实施。并且延长了合作期。 此后3年,成为最终消灭脊髓灰质炎的重要阶 段,由于成果不断扩大,2000年10月,中国全 部彻底消灭了脊髓灰质炎。

合作期间,向中国各地共派进了130位专家,同时,提供实验器材达6.2亿日元、接收进修

人员66名。此外,脊髓灰质炎免疫接种活动, 监测活动,实验室诊断技术也到达了WHO规 定标准。

34



ポリオとは、ポリオウイルスによる感染症 で、脊髄の運動神経細胞が破壊されることに よって、手足に麻痺が残る病気、いわゆる小児 麻痺です。

1988年5月に世界保健機構(WHO)は、2000年 までに全世界からポリオを根絶するための プログラム開始を決議し、その後同年9月には WHOの西太平洋地域事務局地域委員会 (WPRO)が、1995年までに西太平洋地域から ポリオを根絶する方針を打ち出しました。

中国政府もWPROの決議を受けて、1995年 までに同国からポリオを根絶すべくプログラム を開始しましたが、89年に近年なかった全国 規模の流行があり、年間9600人以上がポリオ に感染し、5000人を超えるポリオ患者が発生 しました。

こうした背景のもと、日本国はWHOの 支援要請に応え、中国の「ポリオ根絶」を 援助するために、1990年から長期専門家を 派遣して協力を開始。

1991年7月には、中国政府から更なるポリオ 対策の強力推進を目的として、日本に対し 技術協力が要請されました。

本プロジェクトは、当初、単発の専門家 派遣から始まった協力でしたが、その後、 山東省を中心とした5省を対象とした活動を 開始したところ、顕著にポリオの発生例が 低下したことから、その後プロジェクトを 南西部の省まで拡大して実施。プロジェクト の実施期間も延長して、その後3年間を根絶 宣言に向けての重要な最終段階と位置付けて 成果を拡大し、2000年10月には中国において ポリオ根絶宣詞がなされるに至りました。

本協力実施期間中、延べ130人の専門家を 中国各地に派遣する一方、実験室機材等供与 (6.2億円)、研修生受け入れ(66名)を実施。また、 ポリオワクチン接種活動、サーベイランス、 実験室診断技術も、WHOの定める基準に 達しました。

「能取得实效,真是太好了!」

作为本次项目的首席顾问,我的任务主 要是负责脊髓灰质炎根治项目和指导现场 工作人员。在中国在消灭脊髓灰质炎上能取 得了实效,我感觉非常欣慰。

而且和中国卫生部建立了良好的关系。 也是非常有建设性意义的成果。这对今后的 中日关系来说是不可替代的财富,我希望它 能继续保持下去。

控制脊髓灰质炎项目

日本专家组长 千叶靖男

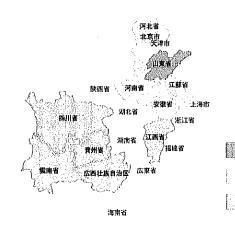
「確かな成果が上げられて 本当に良かったと思います」

本プロジェクトにチーフアドバイザーと して参加した私の役目は、ポリオ根絶プログ ラムの指導と現場スタッフの指導でした。中国 からポリオがなくなったことで、確かな成果 をあげることができて本当に良かったと思い ます。

また中国衛生部との良好な関係が築けたこ とは非常に意味のある成果だと思いますし、 今後の日中関係にとってもかけがえのない 財産ですので是非大切に育んでいただきたい とせつに感じます。

ポリオ対策プロジェクト

日本側専門家チームリーダー 千葉靖男



1991年

1992年

1995~1999年

提高少数民族贫困地区孩子们的 识字率和普及义务制教育 貧困の少数民族地区の子ども達に 識字率の向上と義務教育を



在中国, 汉族以外的其他55个少数民族约 有 1 亿643万人口(2000年)。他们主要的居住 地是5个自治区, 30个自治州, 124个自治县, 约占全国土地的64%。

近年中国来沿海地区的经济得到了显著发展,但大多少数民族居住的内陆地区仍停留在贫困状态。特别是中国整体的识字率达到84%(1990年),而少数民族居住地区的识字率只有70%左右。

因此,中国政府为了提高少数民族地区的 识字率和普及义务制教育、制订了该计划,并 向日本政府申请实施该计划购买教育器材的无 偿资金援助。对此,日本政府自1994年作为无 偿资金援助实施了四次"少民族地区中等学校 教育器材装备计划"总计对15省1市共17学校 进行援助。

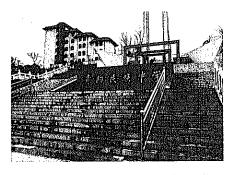
贵州省的少数民族人口占全省人口的38%, 是全国少数民族第三多的省份。其中, 贵阳是 全国省会中少数民族人口最多的城市。这次介 绍的"贵阳市花溪中学", 不仅为市而且为省 培养了优秀学生。



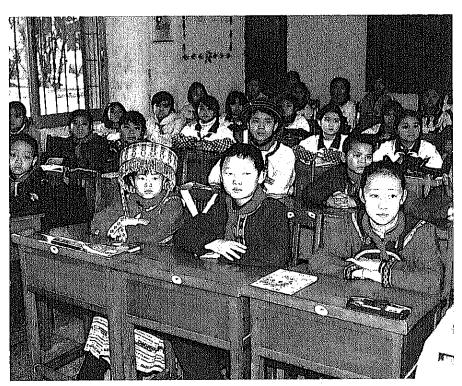
中国には漢民族の他に55の少数民族約1億 643万人(2000年)が生活しています。その 主要居住地域は5自治区、30自治州、124自治 県にわたり、全国土の64%を占めています。

中国では近年の沿海部の経済開発が著しい 一方、これら少数民族が多く居住する内陸 部は貧困地域のまま取り残される状況と なっており、特に中国全体における識字率 が約84% (1990年) であるのに対して、これ ら少数民族居住地区においては70%程度です。

このため中国政府は、少数民族地区に おける識字率の向上、義務教育の普及を図る ために本計画を策定し、この計画の実施の ための教育機材等の購入に必要な資金の 提供を日本政府に要請しました。これに対し、 日本政府は1994年以降、第1次から第4次に わたる「少数民族地区中等学校教育機材整 備計画」を無償資金協力として実施しました。 4次合計では15省1市の17校に対し、支援が 行われました。



貴州省は全省総人口の38%を少数民族が 占め、全国で三番目に少数民族が多い省です。 また貴陽は全国の省都においてもっとも 少数民族が多い地区です。今回紹介する「貴陽 市花渓中学」は、市内のみならず省内の優秀 な学生の育成にあてられています。



「成为贵阳市的重点学校」

1995年接受日本政府无偿资金援助项目 1.15亿日元的教育教学设备援助,使学校的 教学设备达到了全省中学的一流水平。通过 开展电教化教育,使学校教育、教学、办公实 现了现代化,为学校的发展奠定了良好的基

JICA的援助促进了中国经济和少数民族 教育事业的发展。政府部门也给予了高度重 视,使我校得于更快的发展。今后我还想致力 于少数民族教育事业的发展和电教化研究。

贵阳市花溪民族中学

韩小梅 校长

「貴陽市の重点学校になりました」

1995年に日本政府の無償資金協力による 1億1500万円の教育設備協力を受け、本校 は全省中学校のなかでもトップレベルに達 することができました。視聴覚教育が展開 できるようになり、現代の教育技術を実践 することで、学校の発展のよりよい基礎が できたことを嬉しく思っています。

JICAの援助は、中国の経済と少数民族 教育事業の発展を促進しました。政府もこの ことをとても重視しましたので、本校はより 早い発展を実現することができました。今後も、 少数民族の教育事業の発展と視聴覚教育 の研究に注力していきたいと思います。

貴陽市花渓民族中学

校長 韓小梅

项目实施地区一中国最贫困的少数民族地区 プロジェクト実施地区は 中国でも最も貧しい少数民族地区



贵州是中国最贫困的省份, 拥有全国贫 困人口的10%以上。其中,三都县从人均谷 物占有量,平均收入,县财政收入来看,处于 特图县, 在2001年3月, JICA中国事务所实 施农村实际情况调查中反映了三都县的贫

例外,关于农村生育状况"新生儿割断 脐带是使用家中的剪刀或是碗或玻璃碎片, 以及使用竹片等。使得其中一部分新生儿因 脐部感染了破伤风而死亡","一年中,除了 节日买肉吃以外,平时几乎是以腌白菜或是

该项目主要是以这样的农民为对象,提 高他们的生活水平。向38000的农民,提供良 好的医疗服务, 通过居民参与活动改善生活, 通过推广生态农业提高生活水平是该项目 的目标。日方投入4500万日元,(1500万日元/ 年×3年),中方投入2400万日元(资金、劳动 提供合计),进行了综合扶贫。

貴州省は中国で最も貧しい省であり、金国の貧困人口の10%以上を抱えています。その中でも三都県は一人当りの平均穀物消費量、平均収入、県財政収入からみても最下位に位置する貧困県で、2001年3月にJICA中国事務所が実施した農村実態調査でも三都県の過酷な状況が報告されています。

例えば「新生児のへその緒の切断に家庭 用のハサミあるいは碗やガラスの破片、竹片 が使われ、この為一部の新生児はへその緒 から感染し破傷風によって死亡している」、 「一年の内、祝日には肉を買って食べるが それ以外はほとんど白菜漬けか唐辛子の味 噌をおかずにしてご飯を食べている」。

今回のプロジェクトはこうした農民を ターゲットに、彼らの生活向上をめざす ものです。38000人の住民を対象に、良質な 医療サービスの提供、住民参加による生活 改善活動及び生態農業の普及などを通じて、 生活向上の促進を図ることを目的として、 日本側4500万円(1500万円×3年)、中国側 2400万円(資金及び労働力合計)の資金を 投入し、総合的な支援を行っています。

「把这次成功的经验和成果 借鉴到其他的贫困区域」

通过这次JICA的合作,探索新的扶贫开发模式,经过多次与JICA项目官员对提高扶贫开发成效想法的讨论,逐步形成了我们当前在三都实施的"JICA扶贫项目"模式,由居民参与或来进行的扶贫项目。

2002年3月,"以改善生活、妇幼保健,促进 生态农业综合性配合"JICA综合扶贫试点项目 诞生了。

具体内容是 通过设置保健卫生厕所进行 环境卫生改善,同时利用猪粪生产又安全又良 质的沼气。不仅为代替能源而可以生产有机肥料。 此后还会减少化肥的使用量,减轻妇女拾柴负担, 停止森林采伐等等。

现在针对农民意识问题,设置了实用技术培训及家庭经营管理培训。我们已经对三都县200个村的村干部进行了"参与式村级经济与扶贫开发管理培训"。

黔南州扶贫办主任亲自到场听课后,决定 对全州贫困乡镇干部进行参与式扶贫培训。

JICA在项目落实上有很高的信誉,工作效率高。JICA项目成功的经验及成果运用于大面积的国内扶贫工作中,将收到更好的扶贫效果。

贵州省扶贫办公室

外资项目管理中心 荣建国

「この経験とノウハウを 全国の貧困地域で活かしたい」

今回JICAとの協力によって、新しい貧困対策の方法を模索し、最も効果の高い方法について何日も討論を重ねました。そうして現在の「三都県住民参加による総合貧困対策」の基礎が出来上がりました。

2002年3月には「住民参加による総合貧困対策モデルプロジェクト―生活改善・家庭保健・生態農業促進インテグレーション―」 プロジェクトが誕生しました。

具体的には、保健衛生トイレを設置することによって、衛生環境を改善し、また飼育している豚の糞を使って、安全で良質なメタンガスを製造し、代替エネルギーとして活用した上で有機肥料の生産が可能になります。その結果、化学肥料依存も低下し、さらに女性は薪拾い労働から開放され、森林伐採も止めることができるというものです。

現在は住民の意識を高めることを中心に、 農業の知識や技術、また家庭内収支管理の 勉強をしてもらいながら、積極的な参加意欲 の向上を促しています。すでに三都県200村 の幹部にこのプロジェクトの方式を指導しま した。

自ら研究に参加した貴州の黙南州の扶貧 弁公室の主任から「州全体の幹部に勉強させ たい」との話もありました。

JICAのプロジェクト実行力は非常に優れていて信用があり、仕事の効率も高いです。本プロジェクトを成功させて、経験とノウハウを全国の貧困地域で活かすことができたらと思っています。

貴州省扶貧弁公室

外資項目管理中心 栄建国

为了农业的可持续稳定发展, 建设技术推广体系是最重要的课题

持続的かつ安定的な農業の発展のために 技術普及システムの構築が最重要課題



中国建国四十多年来始终开展着农业技术 推广工作。根据中国不同时期的农业状况,来改 善普及组织机构和业务内容。

现在,统一合并了包括中央政府、省、市、县 各级各部门设置的农业技术普及站点,为了建 立综合的指导体制,正在推行完善普及组织机 构的工作。

另外,为了使中国的农业持续稳定地发展、 十分重视普及科学的农业技术。但是,全国范围 的普及体系尚未完备。农民的知识、技术水平低 下,与之相对应的培训体系尚未确立;指导用 设备不足,各地区存在差异,能适应市场需求的 综合性、计划性的普及计划和方法的研究不足 等原因,对今后的工作来说还有不少课题。

从1999年开始实施为期5年的该项目的目标是提高四川省农业技术普及员的普及指导能力的同时, 将农业技术引入农家, 建成稳固、有实效的普及体系。

根据目前为止的务农调查,分析其结果并 制定农业技术普及计划,进一步通过实证试验, 普及和促进新技术。 中国における農業技術普及は、中華人民 共和国設立以来40年余りにわたって実施 されてきました。普及組織機構や活動内容 等は、その時々の中国の農業情勢等に応じ て改善が図られています。

現在は、中央政府、省、市、県段階に設置されている各部門の農業技術普及ステーションを統合し、総合的な指導体制が取れるよう普及組織機構の整備が推進されています。

また、中国における農業を持続的かつ 安定的に発展させるためには、科学的な 農業技術の普及が重視されています。しかし、 全国的な普及システムが完全に整っていない、 農業従事者の知識・技術レベルが低く、 これに対応する研修体系が確立されていない、 指導用機材の整備が不十分である、地域に よる格差や市場経済のニーズに応じた総合 的・計画的な普及計画や方法への取り組み が不十分等、今後の活動への課題も少なく ありません。

1999年より5年の計画で実施されているこのプロジェクトの目標は、四川省における農業技術普及員の普及指導能力向上をはかるとともに、農業技術を農家に導入・定着させる際の、実効性ある普及システムの構築です。

これまでに営まれてきた農業の実態調査、 その結果分析に基づく農業技術普及計画の 作成、さらに実証試験をして新技術の普及 と促進を行っています。

39



「热烈祝贺日本国际协力事业团(JICA) 中国事务所成立20周年」

中日建交以来,日本国际协力事业团(JICA)一直担负着对华的援助与合作工作,并于1982年在北京开设中国事务所。在过去的20年中,JICA与中国农业部密切合作,实施了上海水产品加工(1986~1992年)、天津奶类发展(1990~1997年,2000年~2002年)、中国农机维修培训(1992-1997年)、河北省沧州提高饲料作物生产力(1995~2000年)、加强中国农业技术推广体系建设(1999~2004年)和中日农业技术发展中心(2002年开始)等项目,为把日方先进的农业生产和管理技术传播到我国,提高农产品产量和质量等发挥了积极的作用,为中日农业合作增添了新的一页。

其中加强中国农业技术推广体系建设项目目前正在实施,该项目借鉴日方农业技术推广的先进经验,例如从基层农民那里收集农技信息,针对农民的需要,有的放矢地推广农业新技术等,结合我国的实际情况,对我国农业技术推广体系起到积极的示范作用。

值此日本国际协力事业团 (JICA) 中国事务 所在京成立20周年之际, 谨祝JICA事业更加发 达, 为中日农业合作做出更大贡献!

中国农业部国际合作司司长

唐正平

「JICA事業のますますの発展と中国農業へのさらなる協力をお祈りします」

日中国交正常化以来、国際協力事業団は 現在まで対中援助・協力に関する事業を担い、 また1982年には北京に中国事務所を設立し ました。これまでの20年間、JICAは中国農 業部と密接に協力しあい、上海水産品加工 プロジェクト(1986~1992)、天津酪農発 展計画プロジェクト(1990~1997、2000~ 2002) 中国農業機械修理研修プロジェクト (1992~1997)、河北省滄州飼料作物生産 向上計画プロジェクト(1995~2000)、中 国農業技術普及システム強化計画(1999~ 2004) 持続的農業技術研究開発計画(2002 ~) 等のプロジェクトを実施してきました。 これらのプロジェクトの実施により、日本 の進んだ農業生産・管理技術が我が国に広 まり、農産品の生産量と質の向上に積極的 な役割を果たし、日中農業協力に新しい1 ページが開かれました。

その中でも、「中国農業技術普及システム 強化計画プロジェクト」は順調に進んでいます。当プロジェクトでは、例えば、農民から 農業技術情報を集め、農業のニーズに従い、 目的に合った農業新技術を普及させるなど、 日本の農業技術普及の先進的な経験を参考 にしながら、わが国の実情に沿った、農業 技術普及システム構築に積極的なモデル効 果を発揮しています。

国際協力事業団(JICA)が北京で中国 事務所を設立して、20周年を迎えた今、 JICA事業がますます発展し、中国農業協力に より多くの力を捧げるようにお祈りします。

中国農業部国際合作司司長

唐正平

让我更了解你 不言写写

30年前还是两个没有恢复邦交的邻国 现在每年人员往来已达到200万人次 学习对方的语言、了解对方的文化 热心交流的青年们 尊重相互的技术和经验 共同讨论未来发展的领导者们 更熟悉、更理解的心情 一点点地缩短心与心的距离 为了增进相距的理解

んの30年前まで国気が途絶えていたお隣の国

積極的に触れ合おうとする若者たち お互いの技術と経験を尊重し明日の発展を語り合うリーダーたち お互いをもっとよく知りたい 解り合いたい気持ちが 一歩一歩着実に心の距離を縮めていきます

HCAは日中間の相互理解の増進に資する 交流の強化を支援しています

もっとあなたを知るために **大昌 宣** 理 實 資

以惊人的速度发展着的中国,日本文化发源地的中国, 曾经有着不幸历史而今后友好关系不可缺少的国家--中国。 对日本来说有最重要的两国关系的中国的人民理解日本, 目本人民也更正确了解中国,这些对于两国来说变得愈发

JICA中国事务所成立不久, 就开始派遣青年海外协力 队员(1986年)和实施青年邀请事业(1987年),这两项活动 一直持续到现在。

派遣协力队之初,是将他们派遣到一般外国人居住比 较少的中国各个地区,为促进基层人民相互理解发挥了作用。

青年邀请计划,从87年开始以来,得到了中国各界青年 的广泛参加。通过亲身体验日本的生活,与同龄青年进行交 流达到了促进互相理解的目的。同时,青年基层工作人员的 邀请计划自1990年也开始实施。2000年起,以培养中国共产 党的未来干部的中央党校为对象实施了"中央党校访日研修" 项目。另外,2002年以培养中国优秀的中央政府的行政官员 为对象的"人才培育奖学金计划(通称:留学生无偿援助)" 也在两国政府之间达成一致后开始实施。相互理解也随着 中日两国的重要人物交流的频繁而得以不断加深。



目覚しい経済発展を遂げる中国。日本文化の源流の地、中国。 かつて不幸な歴史を有しながらも今後更なる友好関係が不可 欠な国、中国。日本にとってもっとも重要な二国間関係にある ことは、双方にとってますます重要になっています。

JICA中国事務所が発足してまもなく、青年海外協力隊の 派遣(1986年)と青年招聘事業(1987年)は始まりました。以来 この二つの事業は、途絶えることなぐ今に続いています。。

協力隊の派遣は、開始当初から中国各地の一般には外国人 の居留することの少ない地域へも派遣され、草の根レベルでの 相互理解の促進という役割を担ってきました。

青年招聘では、87年の開始以来、各界から幅広く青年の参 加を得て、日本の生活を実体験し、同世代の青年間での交流を 行うことにより相互理解の促進に役立っています。これに加えて、 中国の人々が日本を理解し、日本人もまたより正確に中国を知る。 若手行政官の招聘が1990年から実施されていますが、2009年 からは中国共産党の将来の幹部を育成する中央党校を対象に した「中央党校訪日研修」が実施され、また2002年度には中国 の中央政府の行政官を対象にした「人材育成奨学計画(通称) 留学生支援無償)」の実施が両国政府で合意され、相互理解も 日中両国のキーバーツンの交流の比重が増しています。

中华全国青年联合会与日本国际协力事业团联合实施的"中日青年友谊计划"自1987年以来,已走过了16个年头。 迄今为止已有1500多名中国青年参加了该项计划,从各自相关领域的角度对日本进行了深入广泛的考察学习,增进了对日本及日本人民和青年的了解,广交了朋友,深化了友谊,为促进中日两国青年交流事业和两国友好关系的发展发挥了积极的作用。16年来,"中日青年友谊计划"培养了大批致力于维护中日友好关系的后续力量,为两国友好关系的健康稳定发展奠定了广泛的群众基础,创造了良好的氛围。

日本国际事业协力团为实施这项交流计划付出了巨大努力,对此,我们谨表示由衷的钦佩和诚挚的谢意!在新世纪,我们愿与日本国际协力事业团和各实施团体一道,把"中日青年友谊计划"办得越来越好,将中日青年交流不断推上新的台阶。

中华全国青年联合会



「协力队员的奉献精神, 对中国的年轻人产生了巨大的影响」

我作为中日友好医院国际医疗部的领导参加了这个活动。我们对协力队员进行了身体检查和健康管理,大家都非常有活力而且没有疾病。

从日本來的协力队员、都是因自己的恋愿而参加这次 活动的。他们在学习了简单的会话以后来到了中国的贫困 地区。和当地的中国人同吃同住一起生活2年以上。我们应 该学习他们这种精神。

日本的年轻人如果也能在新地理解中国的话。我们的 将来就有希望。现在的中日友好只是表面姿态、我的梦想是 在不久的将来能够实现真正的发好。

冲自友好医院

曹年海外协办队顾问医生。叶绮。

中華全国青年連合会が国際協力事業団と連携して実施してきた「日中青年の友情計画」は、1987年に開始されて以来、既に16年間が経過しました。これまで、1500名余りの中国青年が同計画に参加し、それぞれ関係分野の角度から、幅広く且つ突っ込んだ視察と研修を行い、日本及び日本国民に対する理解を深めました。そして、多くの友人を作り、深い友情の絆が結ばれ、日中両国青年交流事業及び両国の友好関係促進に積極的な役割を果たしてきました。この16年、「日中青年の友情計画」は数多くの日中友好関係を維持するための後継者たる人材を育成し、両国の友好関係の健康的且つ安定的な発展のため、民間レベルでの広範な土台を築き、良好な雰囲気を作り出しました。

国際協力事業団はこの交流事業を実施するために多大な努力をなされました。このことに対し、心より敬服と感謝の意を表する次衛であります。新しい世紀において、日本国際協力事業団が各実施団体と云緒に「日中青年の友情計画」をまずまず発展させ、月中青年交流事業を絶え間なく新たな段階に書きない。またなど、

,全国青亚亚岭岭

ー「協力隊員たのの輩住と貢献の精利 中国の若者たちにも影響しました」

中日友好病院の国際医療部のリーダーとしてこの活動は参加 しました。協力隊員の健康管理を行っていましたが、みなさん元 気で病気も少なかったので何よりでした。

日本からの協力隊員たちは、自分の意思で活動に参加し、簡単な言葉の勉強をしてすぐに、中国の貧しい地域へ来で、現地の中国人と寝食をともにし2年以上も生活をする。この精神には学ぶべきところかあります。

日本の若い人たちが正しく中国を理解することで、将来に希望 が生まれます。日申友好は、今は表面の姿にすぎません。本語の 友好が実現することが私の夢です。

青年海外協力隊顧問僕。換稿

15 中月青年交流中心。合作期限。1985年5月至2002年3月 作为所负21世纪重任的青星的交流基地。 是由日本政府先供援助和中国政府出资共同建造的大型国际文化交流中心。

> 日中青年交流センター 協力期間 1985年5月から2002年3月 21世紀を担う青年の交流基地として、日本政府による無償資金協力と 中国政府の出資でつくられた大型国際文化交流センター



46 | 青年海外协力队 佐藤英樹
○职业/蔬菜 ○赴任地 贵州省清镇市
○派遣时向 2001年4月2日至2003年4月1日
青年海外協力隊 佐藤英樹
○職種 野菜 ○任地 貴州省清鎮市
○派遣期間 2001年4月2日から2003年4月1日



青年海外协力队 二宮伸子

○职业 幼儿園教師 ○赴任地 广西壮族自治区桂林市
○派遣时间 2000年7月10日至2002年7月

青年海外協力隊 二宮伸子
○職種 幼稚園教諭 ○任地 広西チワン族自治区桂林市
○派遣期間 2000年7月10日から2002年7月



| 青年海外协力队 媒孙泰洋 | ○职业 棒球 ○赴任地 四川省攀枝花市 ○派遣时间 2001年12月3日至2003年12月2日 | 青年海外協力隊 | 媒孫泰洋 ○職種 野球 ○任地 四川省攀枝花市 | ○派遣期間 2001年12月3日から2003年12月2日



19 青年邀请 北京青年报 朱鷹 ○参加期间 2000年10月至2000年11月 青年招聘 北京青年報 朱鷹 ○受入期間 2000年10月から2000年11月



50 进修生派遣 中国人民大学财政金融学院 长期进修生 花长春 〇派遣期间 2001年9月至2003年9月



